

教育研究評議会（令和7年度第11回）議事要旨

1. 日 時 令和8年2月17日（火）13:30～14:59
2. 場 所 オンライン会議
3. 出席者（参集） 塩崎議長（学長）
（Webex）加藤、太田、小谷、西村、ベントンの各評議員（理事）
出村、笠原、上久保、加藤、細川、井上、船津、種池、筒井の各評議員

欠席者 別所、松下の各評議員

出席監事(Webex) 春本、柴田の両監事

陪席者（参集） 蜂谷、東、有賀の各課長
（Webex）元平部長
守山、田上、山本、伊賀、多田の各課長

(配付資料一覧)

- | | |
|--------|--|
| 資料1 | 教育研究評議会（令和7年度第10回）議事要旨（案） |
| 資料2 | 奈良先端科学技術大学院大学データ駆動型サイエンス創造センターの運営に関する規程の一部改正について |
| 資料3 | 令和8年4月1日付け名誉教授称号授与候補者一覧（案） |
| 資料4-1 | 教員人事について（審議） |
| 資料4-2 | 教員選考結果報告書 |
| 資料4-3 | 教員選考結果報告書 |
| 資料5 | 立命館大学との覚書締結について |
| 資料6 | 次期研究科長等候補者について（報告） |
| 資料7 | 令和8年度 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 運営体制 |
| 資料8-1 | 教員人事について（報告） |
| 資料8-2 | 教員人事について（報告） |
| 資料8-3 | 特任教員選考結果報告書 |
| 資料8-4 | 特任教授等選考結果報告書 |
| 資料8-5 | 特任教員等選考結果報告書 |
| 資料8-6 | 特任教員選考結果報告書 |
| 資料8-7 | 特任教員選考結果報告書 |
| 資料8-8 | 特任教員選考結果報告書 |
| 資料8-9 | 特任教員選考結果報告書 |
| 資料8-10 | 特任教員選考結果報告書 |
| 資料8-11 | 特任助教選考結果報告書 |
| 資料8-12 | 特任教授等選考結果報告書 |
| 資料8-13 | 特任教授等選考結果報告書 |
| 資料8-14 | 教員人事について（報告） |
| 資料8-15 | 客員教員選考結果報告書 |
| 資料8-16 | 教育推進機構客員教員選考結果報告書 |
| 資料8-17 | 教員人事について（報告） |
| 資料8-18 | 招へい教員・客員教員選考結果報告書 |
| 資料8-19 | 招へい教員・客員教員選考結果報告書 |
| 資料9 | URAの無期雇用転換について（報告） |
| 資料10 | 2026年度実施の入試の学生募集要項について |
| 資料11 | 令和9年度概算要求に向けた国立大学法人運営費交付金「教育研究組織改革分」の方針等について |

4. 議 事

(前回議事要旨の確認)

資料 1 に基づき、令和 7 年度第 1 0 回の議事要旨 (案) について、原案のとおり承認した。

(審議事項)

(1) 奈良先端科学技術大学院大学データ駆動型サイエンス創造センターの運営に関する規程の一部改正について

太田理事から、資料 2 に基づき、奈良先端科学技術大学院大学データ駆動型サイエンス創造センターの運営に関する規程の一部改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(2) 名誉教授称号授与について

議長から、資料 3 に基づき、名誉教授称号授与について説明があり、評議員による投票を行い、出席評議員の 3 分の 2 以上の賛成があったため、承認した。

(3) 教員人事について

議長から、資料 4 に基づき、教員人事 (助教の採用 2 件) について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(4) 立命館大学との覚書締結について

加藤理事から、資料 5 に基づき、立命館大学との覚書締結について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(報告事項)

(1) 次期研究科長等候補者について

議長から、資料 6 に基づき、次期研究科長等候補者について、報告があった。

(2) 令和 8 年度運営体制等について

議長から、資料 7 に基づき、令和 8 年度運営体制等について、報告があった。

(3) 教員人事について

議長から、資料 8 に基づき、教員人事 (教授の退職 2 件、助教の退職 2 件、助手の退職 1 件、特任教授の採用 1 件、特任助教の採用 1 0 件、客員教授の称号付与 1 件、客員准教授の称号付与 1 件及び招へい教員の任命 2 件) について、報告があった。

(4) U R A の無期転換について

議長から、資料 9 に基づき、U R A の無期転換について、報告があった。

(5) 2026 年度実施の入試の学生募集要項について

出村研究科長から、資料 1 0 に基づき、2026 年度実施の入試の学生募集要項について、報告があった。

(主な意見は、次のとおり)

- ・ TOEIC Listening & Reading IP テスト (オンライン) のスコアを提出する際に、別途スコアが真正であることを証明する書類の提出は不要にしたのはなぜか。最近 TOEIC の不正問題が話題となっているが、どう考えているのか。
→ IP テストにおいては、テストを開催した機関がスコアの証明をすることとなっているが、大学等で証明書の発行を拒むケースが多く見られたため、受験生の負担を考慮し、スコアのみで入試の判定をしようという主旨である。不正問題については把握しているが、現時点では有効な対策ができていないため、今後対策を考えていきたい。
- ・ 外国籍の学生の本人確認を厳格化した主旨は、安全保障輸出管理等の観点から重要であるためであるが、一方、日本人の本人確認は、受験時及び入学手続き時のいずれにおいても行っ

ていないことから、外国人が日本人と偽って入学する可能性は否定できない。他大学の状況も調査しながら、例えばマイナンバーカードを活用する等により、簡便な本人確認の方法を検討したい。

(6) 令和9年度概算要求に向けた国立大学法人運営費交付金「教育研究組織改革分」の方針等について

有賀会計課長から、資料11に基づき、令和9年度概算要求に向けた国立大学法人運営費交付金「教育研究組織改革分」の方針等について、報告があった。

(その他)

(1) 令和8年度主要行事・会議日程表(案)について

元平管理部長から、資料12に基づき、令和8年度主要行事・会議日程表(案)について、報告があった。

以 上